

液体用流量計の校正方法及び試験方法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	5.2.3.3 第4段落	なお、…算出できる。この場合は… Q_{DUT} を公称 K ファクタで、 Q_S を K_f でそれぞれ置き換える。	なお、…算出できる。この場合は… $Q_S \cdot \rho_S$ を公称 K ファクタで、 $Q_{DUT} \cdot \rho$ を K_f でそれぞれ置き換える。
	5.2.3.4 第4段落	なお、…算出できる。この場合は… Q_{DUT} を公称流出係数で、 Q_S を C_d で、それぞれ置き換える。	なお、…算出できる。この場合は… $Q_{DUT} \cdot \rho$ を公称流出係数で、 $Q_S \cdot \rho_S$ を C_d で、それぞれ置き換える。
	5.2.7 d)	$u(f_s)$ (標準流量計のパルス周波数測定の標準不確かさ) は、…標準不確かさに流量計の経年変化を…仕様から求める。	$u(f_s)$ (標準流量計のパルス周波数測定の標準不確かさ) は、…標準不確かさに周波数計の経年変化を…仕様から求める。
	5.3.4 式(23)	誤	
		$V_{PV} = K_{PP} V_{nom} [1 - \alpha_{PV} (T_{PV} - T_{REF})] (1 + F_{PV} P_{PV})$	
		正	
		$V_{PV} = K_{PP} V_{nom} [1 + \alpha_{PV} (T_{PV} - T_{REF})] (1 + F_{PV} P_{PV})$	

平成 25 年 9 月 1 日作成